戦争とハンセン病―プロローグ……1
戦争と隔離
日清・日露―アジア・太平洋戦争と隔離……6
放置されたハンセン病患者／「国辱」としてのハンセン病／法律「癩予防ニ関スル件」の成立／断種の主張／断種の根拠／「癩予防法」の成立／「無癩県運動」の展開
戦後に続く戦争の影……26
プロミンの希望／時勢に適合した法改正を／古畳を叩け／手錠でもはめてから捕まえて／黒い影／「軍人癩」の増加という煽動／光田健輔の民族差別感／「韓国癩」の恐怖の宣伝／光田の〝偽証〟
戦時下のハンセン病患者
戦時下のハンセン病療養所……48

「堅忍持久」する患者／紀元二六〇〇年

重監房の開設……54
栗生楽泉園の開設／「特別病室」の設置／重監房の記憶／死との直面

軍隊と隔離政策……64
奄美大島要塞と和光園／沖縄戦と隔離

戦場のハンセン病患者……71
徴兵された障害者／徴兵されなかったハンセン病患者／草津の墓碑銘／カウラ捕虜収容所／特殊伝染病／草原の隔離／閉じられた国境／月夜のクローバー／黒い腕章／黒丸の荷札／奉天陸軍病院／傷痍軍人認定／「産業戦士」への復帰

植民地・占領地のハンセン病患者

アジア侵略と隔離……104
植民地の療養所／一貫した隔離政策／笞による支配／懲罰としての断種／戦後も続く強制断種／「無癩州運動」

「東亜の癩」……118
日本MTLの活動／日中戦争勃発と日本MTL／東洋癩生／軍医邑楽慎一／楓十字会から日本救癩協会へ／「救癩挺身隊」構想／「御歌」海を渡る

中国占領地の隔離政策……140
占領下の療養所／略奪されたハンセン病療養所／隔離しない療養所／絶対隔離の導入／南京の光田健輔
「満州国」の隔離政策……151
満州癩予防協会の設立／同康院の開設／同康院の実態／同康院に隔離されたひとびと／同康院の終焉
「南洋群島」での虐殺……167
「南洋群島」の隔離／虐殺の証言／「南洋庁関係文書」が伝える事実／ライビョウジマ／オムレイの記憶／虐殺の論理／虐殺された沖縄県出身者／虐殺の記憶
近現代史における平和と人権の課題―エピローグ……187
あとがき
参考文献

＊カバー写真・長島と〝人間回復の橋〟（国立療養所長島愛生園提供）
瀬戸内海に浮かぶ長島（岡山県瀬戸内市）には、一九三〇年、国内初の国立隔離施設として、長島愛生園、その八年後邑久高明園が建設された。一九八八年、邑久長島大橋が架けられ、外見上は社会との繋がりが回復した。